

にしき園だより

令和8年7月 発行：串本福社会企画広報室



個人情報保護に対する基本方針

串本福社会は、本法人が扱う個人情報の重要性を認識し、その適切な保護のために、自主的なルール及び体制を確立し、個人情報保護に関する法令その他の関係法令及び厚生労働省のガイドラインを遵守し、利用者及び介護者（家族等）の保護を図ることを宣言いたします。

基本理念

串本福社会は高齢者の尊厳ある生活の維持及びご家族や地域住民の福祉の向上を目指します

活動に際し次の三点を職員の行動規範とします

一 利用者、関係者に

わかりやすく説明します

二 笑顔で心を込めた処遇に努めます

三 良識に基づいた処遇に努めます

お問合せ
社会福祉法人串本福社会

〒649-3512 和歌山県東牟婁郡串本町二色160

電話 0735-62-5165

FAX 0735-62-5338

<http://www.nishikien.ne.jp>

高速道路の非常階段完成

「高速ささみ串本道路・二色川に設置される非常階段」がこのほど完成し、七月八日に国土交通省近畿地方整備局より三名の方をお招きして現地説明会が行われました。



当日は、にしき園をはじめ二色地区の役員の方々や串本消防の皆さんも参加され、具体的な利用方法について様々な質問が寄せられました。説明会の後半では、実際に階段を使って二十四メートル上にある高速道路の高架橋まで上る体験も行われました。一見するとかなり急な階段ですが、実際に上った職員からは「確かに急ではあるものの、手すりも設置されており緊急用の非常階段としては十分に活用できる」という声が聞かれ、一同安心いたしました。今後は、階段へ続くアクセス道や水路に架ける橋などの建設が進められ、施設の管理や緊急時の運用方法などの具体的ルールについては、役場など関係各所と検討を重ねていく予定となっております。



非常階段を上る様子

福祉体験学習

少子高齢化や核家族化が進む中、今の子どもたちは高齢者と接する機会が少なくなりがちなことから、多くの学校で高齢者施設での福祉体験を実施しています。

七月七日、串本古座高校の生徒が三名、また、七月九日には串本西中学校の生徒五名が福祉体験で来園。施設内を見学したり、ご利用者の皆さんと話をしたり、用意してきてくれた手作りのゲームを使ったり一緒にレクリエーションをしたりして過ごしました。短い時間ではありましたが、高齢者の方々と直接触れ合うことで、何かを感じ取ってもらえたり、職員の動きや声掛けの仕方を見て、気づきや手助けの大切さを知ってもらえたと思います。



令和八年度 初任者研修開講式

四月十五日、串本古座高校で令和八年度初任者研修の開講式が行われました。今年の受講生は八名で、全員二年生です。講師は九名のにしき園職員が担当します。開講にあたり和田施設長より講話があり、介護の仕事の魅力や高齢者福祉への熱い思いが語られました。

一年間大変ですが、来年二月の資格取得試験に向けて頑張ってほしいと思います。そして、一人でも多くの方が介護の仕事に興味を持ち、将来の進路の一つとして考えてくれることを願っています。



百歳のお誕生日
おめでとうございます

特養にしき園に入所されている植山カズエさんと山本ハツエさんが、五月に百歳のお誕生日を迎えられました。自宅に帰られてご家族と過ごしたり、施設では職員からのプレゼントやケーキでお祝いをしたりして、お二人とも「ありがたい」と笑顔で応えてくれました。これからどうぞお元気で過ごしてください。



苗植え

特養『いろり』では、恒例となっているきゅうりの苗植えを行いました。ベランダで育てられ、毎年立派なきゅうりが何本も収穫されています。収穫したきゅうりは、ぬか漬けなどにして皆さんで召し上がっていただいています。今年も収穫の時期が楽しみです。



クレープ作り

特養『晴日』では、クレープ作りをしました。焼きたての生地皆さんお好きなフルーツやクリーム、あんこを包んでいただきました。みんなで作りました。おやつは特別でした。



豆ごはん

特養・短期『ひだまり』と『晴日』では、旬のえんどう豆を使って豆ごはんを作りました。職員の家の畑で収穫されたえんどう豆を皆さんにむいていただき、炊きあがった豆ごはんは夕食で提供されました。



ホタル観賞会

五月二十八日、特養入所様六名と職員七名で、串

本町吐生地区へホタル鑑賞に出かけてきました。暗闇の中で優しく光を放ちながら舞うホタルは幻想的で、利用者様からは「子どもの頃を思い出したよ」「本当にきれいだね」と感動の声が聞かれました。ご協力いただいたホタル愛好会の皆様、ありがとうございました。



カラオケ

ショートステイ『はまゆう』では、交流スペースでカラオケを楽しんでいただいています。歌に合わせて職員も踊りますなど、笑顔あふれるひとときです。



七夕

七月七日の七夕を前に、特養『花ゆら』ほか各フロアでは七夕の飾り付けをしました。短冊の願い事は、ご自身やご家族の健康をお祈りするものが多く見られました。



デイサービスの七夕飾り

パン屋さん

二色にある古民家を改装したパン屋「LINK」さんに3日間開店しているところを特別に5月から隔週でにしき園にも出張販売に来てくれることになりました。

バラエティ豊かな品揃えで、到着するやいなやご利用者様や職員が次々に買いに訪れ、「食べ応えがあって美味しい」と好評です。前もって欲しいパンを注文することもできて、みなさん販売日を心待ちにされています。



どれにしようかな？どれも美味しそう♪





迫力ある映像や体験に興味津々 ジオパーク見学 &



潮岬ドライブ



上野山にしき園より



五月の風に
揺れる
こいのぼり

玄関横に泳ぐ
こいのぼりに
「立派やな」と
眺めたり手を伸
ばして触れてみた
りと皆さま喜んで
下さった様子
季節を感じる行事
食も「美味しいね
」とお腹も心も
満たされ五月の爽
やかな風を感じな
がら心穏やかな
ひと時でした。

こどもの日ミニ運動会

今年もお隣のこども園の運動会に招待していただきました。清々しい五月晴れのもと、子どもたちの元気いっぱいの姿に笑顔がこぼれました。「しっかり」「がんばれ」と温かい声援と力強い拍手を送りかけこでは、子どもたちと一緒に手や足が自然と動き出す方もいらしゃいました。

一生懸命な子どもたちからたくさん元気もらいました。
最後にメッセージ入りのプレゼントをいただき心温まる触れ合いの時間となりました。



日々の彩り～

お一人おひとりの「好き」を大切に・・・



和気あいあいと麻雀



おやつ美味しい♡



大好き読書



101歳の誕生日



集中！



裏庭で職員と談笑



食事前の口腔体操



避難訓練



懐かしのあやとり

皆さまが毎日自分らしく笑顔で過ごしていただけるようそれぞれ興味趣向に合わせた日常をご紹介します。



潮岬あゆみ園・ほっとハウスうわの園より



【子供たちの晴れ舞台！🎉】



5/24潮岬小学校運動会の応援に行ってきました！前日まで雨だったので心配でしたが、当日は天候に恵まれ一安心。子供たちが元気に走る姿、一生懸命練習したダンスを見てとても喜ばれていました。特に最後のリレーは盛り上がる内容で、皆さんの応援も白熱!!子供たちの晴れ舞台はとても格好良かったです。ぜひ来年も観に来たいと思えた一日でした。

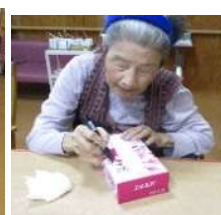


【日常を思い出す楽しい買い物🛒】



日常の風景より

天気の良い日に、職員と一緒に買い物に出掛けました。今年はトマト、キュウリ、ナスビに挑戦する為、コメリへ苗を買いに行き、おやつのお菓子、必要な資材などを「色んなものあるね」と探しながら手に取り、買い物カゴに入れられていました。レジでの支払いは、有人レジ、セルフレジでそれぞれ行われました。こういった機会を少しでも増やしていければと思います。



看取り介護

愛する人の
旅立ちにあたって

当施設では、病気の治療よりも、入居者ご本人ができるだけ苦痛なく、いつもの生活に近い形で穏やかに人生を最期まで施設で過ごしていただく『看取り介護』を大切にしております。

看取り介護とは、「回復が見込めない人生の最終段階において、無理な延命治療を行わず、その人らしい尊厳を守りながら穏やかに最期を迎えるための支援」を指します。食事や排泄の介助といった日常的なケアを通じて、心身の苦痛を和らげることが主な目的です。

ご家族にとって、大切な人の最期と向き合う時間は大きな不安や葛藤を伴うものですが、少しでも後悔のない穏やかな



心かよわせるかけがえのない時間を

時間を過ごすために、みなさまと一緒に支援していきたいと考えています。

ご家族にできる

「心のケアと関わり方」

医療的な治療はできなくても、ご家族の存在そのものが最大のケアになります。

声をかけ続ける

意識が薄れても、聴覚は最後まで残ると言われています。感謝や労いの言葉を耳元で優しく伝えてください。

肌に触れる

手を握る、マッサージをする、ぬれたガーゼで唇を潤すなど、触れ合いを通じて安心感を与えられます。

お気に入りの環境を作る

好きだった音楽を流したり、思い出の写真を飾ったりしてリラックスできる空間を整えます。

医療 介護スタッフとの「話し合い」

看取りは一人で抱え込まず医師や看護師、介護の専門家とチームで行うものです。以下の点を事前に繰り返し話し合っておくことが大切です。

意思の共有

本人が元気な頃に望んでいた「理想の最期」を家族間で共有しておきます。

延命治療の方針

心肺蘇生や人工呼吸器、胃ろうなどの処置をどこまで希望するか、あらかじめ決めておきます。

連絡網の整理

万が一のとき、誰にどのタイミングで連絡するかをリスト化しておきます。



家族(自分)自身の「心のケア」も大切に

看取りを行うご家族は、心身ともに大きなプレッシャーを感じます。

不安は専門家に打ち明ける

医療やケアへの疑問、悲しい気持ちや遠慮なくケアマネージャーや介護士、看護師に相談してください。

また当施設では、ご希望があれば、ご家族がゆっくり過ごしていただけるお部屋の準備や、お別れの時間のサポートもしておりますので、お気軽にご相談ください。

看取り介護では、お身体の状態が大きく変化したときに医師や看護師から病状の説明を行い、その上で入居者ご本人、ご家族のご希望をうかがいながら、残された人生の方

針と一緒に決めていきます。大切な人の最期に寄り添う時間は、悲しみや不安だけでなく、これまでの感謝を伝えるかけがえのない時間でもあります。ご本人のケアは当然ですが、まずは自分自身が健康でいることが大切です。無理はせず、周りの人にも頼ることも必要です。一人で抱え込まず、医療・介護スタッフを頼っていただきながら、穏やかなお別れの時を迎えられることを心より願っています。

特別養護老人ホームにしき園
看護師 辻内 謙



串本福祉会では、御家族様向けのパンフレット『愛する人の旅立ちにあたって』をご用意しております。お気軽にお申し付けください。



串本で生まれ育ちました。学校を出てから料理の手習いで弟子としてあちこち料理をしに行きました。昔は家で結婚式をしたので、泊りがけで何十分もの料理をこしらえました。

21歳で結婚。漁師をしていた夫と実家の土建業を継ぐことになり、のちに長男次男も家業を継いでくれました。夫は口数が少なく真面目な性格で、



中田 明美さん
昭和8年生まれ

お話聞かせて



仕事は自分の思うようにしてききましたが、息子のやりたいようにもさせてやりたいと徐々になんか仕向けた。私の主な仕事は職人さんの送迎で、和深方面や町内各所から現場までバンに乗って87歳まで続け、入札に行ったり、夫の手伝いも一生懸命こなしました。

車に乗るのが好きで、休みの日に夫と「今日はどこへ行く？」と、NTTのところを右へ曲がるか左へ曲がるかであてもなく出かけたものです。遠くは伊勢や高野山まで足を延ばしました。

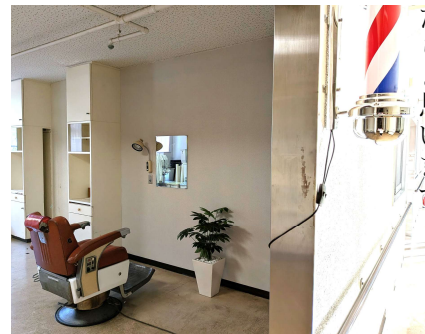
また、年に1回組合の旅行に行くのも楽しみで北海道から沖縄まで日本

散髪 できます♪

にしき園の旧本館空き部屋を活用して散髪用のスペースを作りました。

椅子は、古座川町で理容室を経営されていた岡本昭典さんから寄付していただいたものです。長年大切に使用してこられたレトロで味わい深いこの椅子は、自動で角度を変えられることができ、まだまだ現役です。入り口には回転灯が設置され、散髪屋さんらしい雰囲気になりました。

毎月来られている訪問理美



容の美容師さんに使っていただいて、利用者さんに「散髪に行ってきた!!」という特別感を感じてもらえたらと思います。

全国色んな所に行きました。それが励みで仕事を頑張れたと思います。もう一度どこかに行けるとしたら、礼文島の高山植物がすばらしかったです。また見てみたいです。

ここ数年、ケガで体が思うように動かせないのがはがゆいですが、子供たちがやさしく身の回りのことをしてくれるので「ありがたう」しかないです。週に3日デイサービスに来て、人と話をしたりコーヒを飲んだりするのが楽しいです。

★家業を守るご苦労やご家族との思い出をたくさん話してくれた中田さん、これからもお元気で来園してくださいね

講談師来園



5月11日、古座川町出身で東京在住の講談師：榎原まいさんが来園。「源左衛門駆けつけ」や「耳なし芳一」などの演目を披露してくれました。

講談を始めて1年とは思えない落ち着いた語り、ご利用者の皆様は熱心に耳を傾けていました。榎原さんは、おばあさまがにしき園に入所されていたご縁で今回訪問してくれました。これからもますますのご活躍をお祈りします。



にしき園
事務職員

新入社員 紹介

令和8年5月～
7月入社



和田 壮平

これまでの経験を活かし、また福祉についてもしっかり学んで、法人や地域に貢献できるよう頑張ります。



上野山にしき園
介護職員

在 仲能 理子

この年齢で再びお仕事をさせていただくことになるとは思っておりませんが、精一杯努めてまいります。



うわの園
厨房職員

南地 二三子

施設での調理は初めてですが、スタッフの皆さんが明るくて、楽しく仕事を始めることができ、頑張りたいと思っています。



にしき園
介護職員

濱口 久子

介護の現場は久しぶりですが、高齢者の方とお話するのが大好きなので、今までの経験を活かして頑張ります。



にしき園
食器洗い等担当

小山 ひとみ

介護施設でのお仕事は初めてですが、早く仕事に慣れるよう頑張りたいと思います。

作品紹介

虫送る子等に会いたり散歩道

濱口 英生

憚りし通所介護のサングラス

辻内 伸和

左手はたまに手伝ひ草を取る

植山 一枝

椰子の葉の影に拾える星涼し

山田 照子



社会福祉法人串本福祉会

◎介護老人福祉施設
特別養護老人ホームにしき園
〒649-3512
和歌山県東牟婁郡串本町二色160
電話0735(62)5165 FAX 0735(62)5338

◎地域密着型特別養護老人ホーム
上野山にしき園
〒649-4113
和歌山県東牟婁郡串本町津荷29-2
電話0735(72)6066 FAX 0735(67)7880

◎在宅福祉総合センターにしき園
(通所・短期・訪問・居宅介護支援)
〒649-3512
和歌山県東牟婁郡串本町二色165
電話0735(62)6922 FAX 0735(62)6923

◎認知症対応型共同生活介護
グループホーム潮岬あゆみ園
〒649-3502
和歌山県東牟婁郡串本町潮岬659
電話0735(62)7122 FAX 0735(69)2270

◎小規模多機能型居宅介護
ほっとハウスうわの園
〒649-3502
和歌山県東牟婁郡串本町潮岬659
電話0735(69)2388 FAX 0735(69)2270

◎住宅型有料老人ホーム
潮騒の家
〒649-3502
和歌山県東牟婁郡串本町潮岬659
電話0735(69)2388 FAX 0735(69)2270

◎にしき園診療所
〒649-3512
和歌山県東牟婁郡串本町二色160
電話0735(62)5165 FAX 0735(62)5338

御寄付御礼

(令和8年4月～6月分 順不同)

梁村 彰 様
岡本 昭典 様
榎山 弘一 様
植野 禎 様
辻内 伸和 様
林 久悦 様

社会福祉法人串本福祉会にご寄付を頂き誠にありがとうございます。皆様方のご芳志に深く感謝申し上げます。ご紹介させていただきます。

絵画展示

にしき園本館交流ホールにて

地元の絵画愛好者でつくる黒洋画会の代表植野禎さんから、このたび絵画をたくさん寄付していただきました。和田副施設長が、高校時代の恩師である植野氏に作品を飾らせてほしいと相談したところ、快諾していただき実現したものです。現在、本館の地域交流ホールでの展示に向けて急いで準備をしているところです。油絵や墨絵、ペン画など多彩な作品の数々を、入所者の皆様だけでなく、御家族様や地域の皆様にも鑑賞していただけたらと思っています。



【編集後記】

梅雨が明け、いよいよ夏本番を迎えました。今年から気象用語として、日最高气温が40度以上の日を「酷暑日」と呼ぶそうです。こまめな水分・塩分補給と空調の適切な使用で猛暑・酷暑を乗り切りたいですね。今号は、看取り介護について取り上げました。串本福祉会では、ご本人やご家族が安心して最後の時間を過ごすことができるよう職員向けに看取り介護の研修を定期的に開催しています。誰にもいつか必ずお別れの時が来るとはいえ、大切な人との別れは寂しくても感謝の気持ちを伝えておけばよかったという後悔があるかもしれません。本文にもあるように、看取りはそういう最後の機会でもあり、思いを伝えることが残された方々のこれからの生きる力につながる気がします。「耳は最後まで聞こえている」と信じて。



詳しい情報はホームページをご覧ください!!

<http://www.nishikien.ne.jp>

苦情の受付に関して
本法人では、皆様からの苦情・ご意見にお応えするための体制を整備しております。お寄せいただいた苦情・ご意見に関して迅速に対応・解決することにより、より良いサービスの提供に努めます。

《苦情受付》 0735-62-5165